

## 「国際金融都市 OSAKA 推進委員会」令和7年度第2回幹事会 議事概要

○と き:令和8年1月21日(水) 14時00分~16時00分

○ところ:ATC ホール コンベンションルーム2

○出席者:名簿のとおり

### ■国際金融都市 OSAKA 戦略アクションプランの改訂について

#### 【幹事】

- 異論などはないが、KPI のところ、ユニコーンのところが未達がある一方で、新たに数値計画として資金調達や、海外からの投資について数値目標が設定されているので、未達の原因と、未達のまま次の計画を出していくところは、納得できる説明が必要。
- ユニコーンをどう育てていくのかの見解を伺いたい。

#### 【幹事】

- 訪日外国人が約 4270 万で、600 万の増加となった。これは一昨年の大阪・関西万博の効果も大きかったと思うので、このレガシーを引き続き、今年・来年へと繋げていくことが、やはり重要だろう。
- 我が国では金融教育リテラシーが過去不足していたこともあり、大阪府市がより音頭を取っていくことが、国際金融都市に向けての、近道であり王道であると考えている。

#### 【幹事】

- 事務局の提案に対し、異論などはない。我々としては、特にステーブルコインや暗号資産という点で、貢献していきたい。

#### 【幹事】

- スタートアップ支援について、引き続き海外との連携も視野に入れて進めてまいりたい。

#### 【幹事】

- 特に方向性、万博での先端技術、海外とのつながりを生かすというところ、大変賛同する。国際金融都市大阪がめざす方向が、万博を経てすごくクリアになってきたと思う。
- 大商でも、1月の終わりに、大学や研究機関の製薬シーズと製薬企業をつないでいくという商談で、早速海外からも案件を沢山出していただいております、万博の成果が生かされている。
- 海外エリアの重点の一つである中東から、創薬への投資に関心をもっており、産業を育成していくうえでグローバルなエコシステムを作っていく必要がある中、国際金融都市の動きもよい感じでマッチしてきていると思う。

【幹事】

- 投資促進の目標値について、京阪神がどこをさしているのか。大阪スタートアップエコシステムコンソーシアムからのものであれば、彼らが思っている京阪神は、京都・大阪・神戸をさしており、滋賀や和歌山は入らない。
- 目標値の資金調達額について、スタートアップであれば設立10年以内などの括りがある中、高い数値だと思う。
- 目標値の根拠として、関西スタートアップエコシステムコンソーシアムが定めた数字を引用していると書いた方が、明確になると思う。
- 国際金融都市の推進メンバーでの目標値をとると、ハードルが高い。コンソーシアムメンバーというのが、主だった大阪の金融機関も含み、自治体中心だったかと思うので、そこで策定したものだと書いた方が、乗りやすいという気がする。

【幹事】

- 第一期の活動を踏まえて、第二期のアクションプランをより明確にまとめていただいたことを評価する。

【幹事】

- 今般の戦略改訂において、万博レガシーの継承、発展の観点を踏まえて取組みの焦点を絞られた点に、賛同する。
- 今後、大阪の課題も踏まえ、財政的な裏付けを伴う支援策の打出しやビジネス・生活環境の整備に力を入れていく必要があると思う。
- アクションプランの中で、今後検討を行っていくという記述が散見されているので、大阪府・市においては、関連部署とも連携いただきながら、例えば、3月の総会などの場で、可能な限りそのイメージをご提示いただきたい。

【幹事】

- 国際金融都市大阪の第二期に向け、今、課題として出されているところで、我々としてはスタートアップと金融ファウンドとの出会いの場の創出であったり、1期からの高度金融人材育成にかかる大学や官民連携の講義であったりというところで、貢献をさせていただきたい。

【幹事】

- 今回の内容について、私どもも賛同する。
- この会議体で検討されている事項については、参加されている企業のみならず、大阪市内あるいは大阪府下のほかの企業様にも展開されれば、もっと色々な広がりがみえるのではと思う。
- 色々な形で規制緩和に向けて動いていると思うが、規制緩和というのが、国際金融都市に向けた攻めの部分とするならば、守りのほうも必要かもしれない。地政学的なリスクや関税の問

題なども、同時に検討していく必要があるのかもしれない。

【幹事】

- 直近では、昨年9月に Global Startup EXPO があり、そのイベントをきっかけに海外から多くのVCの方々に、大阪へ来ていただいた。
- アクションプランの方針として、海外の投資家の誘致に向けて、在留資格も含めて、規制緩和に向けた取組みも検討の1つとして挙がっているかと思う。国際金融都市大阪の取組みにおいて、特別に規制緩和などの政策が考えられるのであれば、我々も検討できればと考えている。
- 我々は組織としても『INVEST JAPAN』を掲げており、新しい在留資格の条件に関しての情報が集まり、進捗があれば、共有できればと思う。
- 投資家ビザについて、前向きな進展があればと期待している。

【幹事】

- イベント情報の集約ができないか。
- スタートアップに対する大阪府・大阪市からの出資を、どう考えているのか。
- ユニコーンになりそうな企業が関西に見当たらない。未公開企業への出資やユニコーンをどう育てるのか。

【幹事】

- 最近の外国人の特徴として、データセンターの件や、ステーブルコイン、トークン、特に不動産等を目的に来日される方が増えてきた。今までのフィンテック、ヘルステックだけでなく、幅広く人を呼べると思っている。
- ここ1~2 か月、AIに関するベンチャーについて、色々と紹介があるので、そのようなこともインクルードするのが良いと思う。
- 大阪でも、大手の企業も含め、インハウスの CVC の面談で、外国の方が増えてくるのではないかと考えている。
- 我々は、ロンドンで、スタートアップのインキュベーターを1つのビルに招待している。場の提供というのも、スタートアップやスタートアップに投資したい投資家を集める便利な入口になると思う。

【幹事】

- 弊社でも、ここ数年で、BCP サイクルとしての大阪の重要性を高めている。
- 東京から大阪への人員のシフト、大阪での新たな採用などをしてきたが、非常に円滑にいきおり、大阪のポテンシャルをさらに認識する数年だった。
- 金融庁がリードする Japan Weeks が、海外の投資家やフィナンシャルスポンサーを呼び出し、機会になっており、そういった機会に東京に来た多くの金融機関や投資家の方らを、大阪にナ

ビゲートすることを考えても良いかと思った。

- 金融人材高度化のための金融教育に、貢献できたらと考える。

#### 【幹事】

- レジリエンスについて、日本の他都市と比較し、大阪の人材供給量は格段と違うので、しっかりそれをアピールすることが必要。また、顧客基盤も、関西圏は違いがあると思う。

#### 【幹事】

- 損害保険会社ができることとして、平時は地道な活動となるが、防災・減災対策がある。金融系外国系企業の誘致は、そこで働く方のみならず、家族の方が安心安全に暮らしていくため、外国人の方にも優しい防災減災が必要である。
- 万博のレガシーとスタートアップ支援について、社会実験から社会実装へ、研究シーズから社会実装へは、いずれの領域においても、挑戦を後押し、失敗を許容する社会を構築するにあたり、保険商品の開発・提供は重要である。

#### 【幹事】

- 今回の改訂原案について、特に方向性として違和感のあるものではなく、我々も貢献していきたい。
- 金融業界のビジネスでも、今まで東京中心だったところが、関西や地方にも案件として非常に増えてきているという実感がある。
- 弊社としては、新しく『うめきた』に作った拠点などで、特にスタートアップと大企業のマッチングをしていきたい。まだ半年くらいだが、イベントだけではなかなか伸びてこず、実のあるビジネスにつながらないのが、大きな課題である。
- イベントは負担もかかるので、色々な方と連携して盛り上げていきたい。
- インターナショナルスクールは、和歌山と兵庫県で誘致がなされた。大阪でも、再開発の案件、IRに絡んで必要だと、弊社としても思っている。
- 各種学校の認可基準について、東京都などに比べてまだ厳しいのではないかと思う。

#### 【幹事】

- スタートアップ界限は、1つ1つの金融機関だけではやりきれないので、大阪府市に皆さんと協力してやっていけるようしていただくと、やり易くなる。
- KPIの資金調達額の目標は高いと思ったので、きちんと説明できるようにと思う。
- 企業内CVCへのつなぎの話もあったが、この会合は金融機関中心に集まっているところ、事業会社とどうやっていくのかが、今後の発展のために必要だと思うので、そこに向けて大阪府も発信すれば、事業会社も参加・アグリーしやすいと思う。

#### 【幹事】

- 第二期の取組みについて、異論はない。
- スタートアップや、レジリエンス・金融経済教育など、我々として協同させていただきそうな項目が沢山あると思った。
- レジリエンス向上については、副首都構想とあわせて、今後さらに注目を浴びるテーマだが、すでに大阪に高度な人材がいることは、バックアップ体制を築くのであれば有利なポイントと思う。
- 我々も大阪にさまざまなバックアップ拠点を設け、拠点のある各社での情報交換に参加しているケースもあるので、今後、そのような面で役に立っていければと思う。

#### 【幹事】

- 改訂原案について、違和感はない。
- 金融経済教育に関しては我々も力をいれており、特に判断力早い段階から身につけていただくことが、将来の人材基盤の強化に繋がると考える。
- ビジネス環境の整理について、将来的な労働人口の減少などを抱える中、英語の対応によるワンストップなどもあるが、AI エージェント活用によるマルチ言語対応などにより、様々な課題に向き合っていく必要があると感じる。

#### 【アドバイザー】

- 戦略に大阪の特徴が出てくるのが非常に大事と思い議論してきた。
- 一言、二言でここが大阪の魅力だと言えると、各海外企業が「であれば、大阪の話を知ろう」となるので、分かりやすく打ち出していくことが、大事である。
- スタートアップの関係でも、フィンテックなどに関する議論があったが、地場の工業力があるのも大阪の一つの特徴かと思う。
- 国家戦略特区の中でも、産業クラスターをどう育てていくのかという議論が、新政権の中で出てきているので、ぜひ大阪での金融都市の取組みもつなげればと思う。
- 規制改革の側面でも、デジタル AI ということが言われている。ディープテックがあり工業力がある大阪と、AI を関連あわせることで、つながっていくと思う。

#### 【アドバイザー】

- 都市像の1と2で、うまく副首都構想との関係を、アクションプランに関係づけられた印象を持った。副首都構想におけるデュアルオペやバックアップ機能の拡充といった意味で、これからGPIFに働きかけをされるという点、評価したい。
- 国際金融都市の独自性は、都市像の2のほうになると思う。デリバティブ市場をもう少し拡充させるとか、例えばステーブルコイン・ブロックチェーン・フィンテックの企業を誘致して、拡大していくという取組みが重要かと思う。

- 大阪府民に、どう理解いただくのかというのが非常に大事である。シンポジウムやイベントといった形など、今後は考えてみても良いかと思う。
- 金融経済教育を盛り上げるためのシンポジウムなども、今後取り入れてはどうか。来年度にとは言わないが、イベントなりシンポジウムなりを活用してみても良いと思う。
- 金融経済教育の評価として、アンケートというものもあるが、テストを試してみるのも一つのやり方かと思うので、またご検討いただければと思う。
- インターナショナルスクールは、やはり必要だという印象を持っている。重点的・具体的に組み込んでいただきたい。

#### 【アドバイザー】

- 現行戦略から、かなりブラッシュアップできたと考える。
- 土台はできたので、これをどう発展させていくか。どれだけ情報を展開できるのか。これからより深く専門的な知見が必要な中、戦略を作成する事務局はかなりの負担だと思うので、運営側の強化も必要かと思う。
- どれが決め手の戦略かという話が出てきていたが、A4に1枚でまとめるとどうか、2~3分でまとめるとどうかとなると難しいと思うので、明確にすべきと思う。
- 万博レガシーのところ、大阪に貸金など金融の基盤がある中、これまで国際金都市でなかった理由は、インターナショナルのところだと思うが、万博でネットワークが出来たので、このソフトレガシーを使わない手はない。

#### 【アドバイザー】

- プロモーションについて、去年参加した時にアンバサダーが30人以上いて、今もいるかと思うが、あまり活用していないのかなと思った。
- アンバサダーたちに、何をどこでやって欲しいのか。一般市民向けのほか、海外の日本大使館を使って、関西経済をアピールしたら良いのではないか。